令和 5 年度 奈良市社会福祉審議会 高齢者福祉専門分科会 会議録		
開催日時	令和6年2月5日(月)午後13時から午後14時30分まで	
開催場所	奈良市役所 中央棟地下 B1 会議室	
議題	1 議事録署名人の選任について	
	2 奈良市老人福祉計画及び第9期介護保険事業計画(素案)の審議について	
出席者	委員	渡辺一城委員、今西康乃委員、木村秀子委員、艸香和子委員、作間泉
		委員、松村清子委員【計6人出席】
	事務局	嵯峨福祉部長、伯耆福祉部次長、井上長寿福祉課長、森田補佐、北村
		福祉政策課長、松浦補佐、津田係長、田中介護福祉課長、西田補佐、
		深山補佐、乾係長、成田係長
開催形態	公開 (傍聴人 0 人)	
決定事項	・今西委員、木村委員を議事録署名人に選任した。	
	・奈良市老人福祉計画及び第9期介護保険事業計画(素案)を承認した。	
担当課	福祉部長寿福祉課	
議車の内容		

議事の内容

- 1 議事録署名人の選任について 今西委員、木村委員を議事録署名人に選任した。
- 2 奈良市老人福祉計画及び第9期介護保険事業計画 (素案) の審議について 事務局より、「奈良市老人福祉計画及び第9期介護保険事業計画 (素案)」について説明

〔質疑・意見の要旨〕

- 委員 万年青年クラブについて、会員数の減少や役員の担い手不足、予算等の問題があり、地区万年青年クラブも奈良市万年青年クラブ連合会も非常に疲弊していると聞いている。行政として、万年青年クラブの活動に対してどこまで期待されるのか、心配である。
- 事務局 万年青年クラブの役員の担い手が高齢化し、次の担い手不足等の課題を抱えていることを行政として把握している。新しい会員や次の担い手の確保につながるように、奈良市老人福祉計画及び第9期介護保険事業計画の中で活動の PR や支援を行う予定である。
- 委 員 通所型サービス B に関して、数年前から積極的に取り組んでいるが、未実施 の地区があると計画内に記載されている。未実施の地区とは具体的にどのよう な地区を指しているのか。
- 事務局 未実施の地区については、住民主体による支援(通所型サービスB)が未実施 である地区を指している。46地区の小学校区のうち、25地区でしか通所型サービスBを展開できていないため、残り21地区の展開を目指していく。
- 委 員 災害時における各団体(地域包括支援センター、民生児童委員、福祉施設等) の支援体制について、市民への周知ができているのか、疑問に思う。
- 事務局 災害時における各団体の役割については、BCPの作成等により、計画が進んでいるが、市民への周知については不足していると認識している。災害に対する意識の醸成を図れるような情報の周知について取り組んでいきたい。
- 委 員 地域包括支援センターの圏域が、中学校区と一致しない場合があり、現場職

員が困っていると聞いたことがある。行政でも圏域の不一致について把握しているのか。

- 事務局 地域包括支援センターの日常生活圏域を13地区に分けているが、実際の校区 と若干の違いがあるということは把握している。概ね中学校区ということで示している。
- 委 員 重層的支援体制整備事業について、支援対象者が複数の課にまたがって課題 を抱えている場合に、行政としてどのように重層的に支援していくつもりなの か。
- 事務局 令和5年度より、福祉政策課内に重層的支援体制整備事業のコーディネーターとして参事を位置づけている。また、社会福祉協議会より1名コーディネーター役として従事していただいている。複合化・多様化する課題に対して、支援会議を設置し、少しずつ取り組みを進めている。次年度以降もこの体制を維持しながら重層的な相談・支援体制の整備を進めていきたいと考えている。
- 委 員 老人憩の家は市内に何か所あるのか。
- 事務局 奈良市内に18施設あり、運営管理は地域の万年青年クラブ等が行っている。
- 委員 介護を担って頂ける方をいかに確保していくかということがこれからますます重要になっていく。介護を学んだ方が、奈良で働いてもらえるような、介護職のイメージアップや働きかけを行っていく事が必要になると思う。
- 事務局 小学校や中学校等において、幼いときから介護職というものに触れる機会を 作り、介護職を認知してもらうということが重要だと考えている。例えば、学 校の授業の中で事業所訪問を行う等の取り組みを検討している。
- 委員 団塊ジュニア世代が 65 歳以上となる、2040 年を迎えるにあたって、元気な高齢者を増やすことが重要だ。自分で食べて、生活して、という自立した生活を行うことができる「自立年齢」を高めていくために、高齢者の生きがいづくりや居場所づくりを進めていく事が重要だと考える。
- 会 長 この奈良市老人福祉計画及び第9期介護保険事業計画に基づいて、我々市民 側の意見で計画に肉付けをしていくという部分が市民や民間に求められている 重要な役割であると思う。行政側も、具体的にどのように働きかけていくのか、トリガーとなっていただけるような仕組みを考えていただけたらと思う。

審議の結果

会議で提示した素案通りで承認された。